

2011(平成23)年度 第3回		開催月日		2011年6月27日(月)						
FD支援プログラム・指定PJ 定例MT議事録		場所・時間		本館3階会議室・16時30分～17時45分						
出席者	△	小西由浩	○	藤波潔	○	平良直之	○	前堂志乃	○	友知政樹
	△	佐藤敬明	○	喜世川悠						
幹事：教学課 玻名城政弘、中山かつら										
議事	<p>【第1回FD研修会についての所感】 平成23年6月17日(金)開催の第1回FD研修会「シラバスの『在るべき姿』を考える」について、所感も交え、意見交換を行った。詳細は、次のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じ事務職員という立場であったので、関心を持って拝聴した。特に、普及・充実させる取組みについて多角的な視点を学べた。 ・ 事例としては、授業評価アンケートとシラバスをリンクさせる取り組みやカリキュラム・マップが印象に残った。 ・ 立命館大学の取り組みの多さに感銘を受けた。事例としては、図書館の蔵書システムのとの連携が印象に残った。 ・ シラバスチェック・カリキュラムチェックを行い、3万あったカリキュラムを半減させた取り組みに驚嘆した。 ・ 非常勤教員に、科目のつながりをいかに意識させるかが、どの大学にもあてはまる課題になるのかと考えた。 ・ シラバスチェック(提出されたシラバスをチェックする取り組み)を、事務職員ではなく教員が担当されているのだが、本学でも取り組まないといけない課題なのかと思った。 ・ 立命館大学には、科目の位置づけが明確に書かれたガイドがあるのだが、本学でもカリキュラムの位置づけを考える取り組みを持たないといけない時期にきているのではないかと考えた。 									
	<p>【他大学の事例検証】</p> <p>1. 各委員より、他大学のシラバスの事例(他大学の良い例、悪い例)について報告がなされた。</p> <p>1) 調査の観点：本学と同じ教務システムを導入している大学の事例報告 概要 報告：T大学、N大学について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 同じシステムを導入していても、項目や印刷設定等相違が見られる。カスタマイズ等ができるシステムなのかも含め、本学が現行のシラバスの設定を行った経緯などを調査し、報告を行う予定である。 <p>2) 調査の観点：本学と同じシステムを導入している大学の事例報告 詳細 報告：K大学について</p> <p>「講義計画」における字数、「学習・教育目標」「受講制限」「関連する科目」など本学にはない項目設定がされている状況の報告。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ (前述の)システム導入の経緯の報告を受けて、項目設定が変更できるシステムということが確認できれば、このPJの取組み・結果がより反映できるのではないかと。 <p>3) 「良いシラバス・悪いシラバス」調査の観点：項目 本学のシラバスにはなく、よいと思われた項目を持つシラバスの報告がなされた。</p> <p>R大学：「準備学習」「履修の条件」「当該科目に関連する開設科目」「担当者からの一言」 K1大学：「授業以外の学習方法」「留意事項」 K2大学：「成績評価方法・基準自由記述欄」「準備学習等についての具体的な指示及び他の科目との関連」「更新日時」「連絡方法」</p>									

<p>議</p> <p>事</p>	<p>N大学：「受講生の自宅学習」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学の項目にはない「授業外の学習」といった観点が必要となるのではないか。また、一方通行にシラバスを作成するより、担当者とのやり取りができることを示唆する項目「連絡先」や、担当者からのメッセージ性が含まれている項目が良いと思われるシラバスになるのではないか。 ・「悪い」とは言い難いが、項目がそれなりにあったとしても、一括ダウンロード方式等、利便性が悪く、使われにくいシラバスがある。事例T1大学 <p>4) 「良いシラバス・悪いシラバス」調査の観点：偏差値のレベル（本学と同程度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・偏差値が同程度の大学のシラバスを中心に確認した。すると、内容についても本学とほぼ同じであった。以下は、その中でも良いと思われる事例。 <p>I大学：「授業計画」と並列して「授業計画の概要と方法」の項目が15回分ある。</p> <p>K3大学：15回分の授業内容を記述する前に「学習目標」「ベンチマーク」「アサインメント」が示される項目設定。</p> <p>H大学：15回分の授業内容と並列に「準備学習」の欄がある。本学では記入しづらい同一テーマだが、内容の異なる場合における書きやすい設定がある。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「悪い」とと思われるシラバスは、明らかに項目・内容が少なく記入が殆どない場合を示した。 ・「到達目標」がきちんと示されているシラバスは、総じて良かった印象がある。進んでいると思われるシラバスは、「事前学習」の項目がある。工夫次第では、もっと良いシラバスが作れるという感触を得た。 <p>5) 調査の観点：作成要領の有無・事例</p> <p>R1大学シラバスの作成要領：項目としては「事前事後学習」「達成目標」あり。「関連する科目」といった項目がないのは、検討中なのかと推察される。</p> <p>E大学作成要領：シラバスについて基礎的事項から、効果的な動詞の使い方まで示された要領。シラバスの書き方の研修会を開催している。</p> <p>TJ大学作成要領：入力のマニュアルと作成事例。</p> <p>その他のシラバス事例</p> <p>N1大学・NS大学・T2大学：本学と似た印象を受ける。</p> <p>O大学：印象としてアメリカのシラバスのようである。</p> <p>H大学：事例報告であがった「事前学習」などの項目を、すべて網羅している感がある。</p> <p>T3大学：とても入念に記載されており、とても細かい印象を受ける。</p> <p>その他資料として、読売新聞のコラムの抜粋及び「アメリカの大学・ニッポンの大学」（荻谷剛彦著 玉川大学出版部発行）の要約の提示があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アメリカの大学での半期での履修科目は、3-4科目であり、日本だと10科目程度は履修する。アメリカでは、その3-4科目について徹底的に学習するシステムとなっている。アメリカと日本の授業以外でかける学習時間の差ははっきりと示されている感がある。
-------------------	--

議	<p>2. これまでの事例における所感・質問・感想</p> <ul style="list-style-type: none"> ・シラバスを学生の目に触れさせる機会を検討すべきではないか。履修登録とシラバスにリンクを張り、履修登録画面から、取りたい科目のシラバスに飛ぶ設定など、難しい技術ではないので、可能ではないか。 ・本学のシラバスも悪くない。足りない項目を補う形で、設定を追加・変更していく方向でもいいのではないか。特に「到達目標」はきちんと項目立てて設定するほうが望ましい。 ・項目というのであれば、「準備学習」も必要ではないか。「履修条件」ではなく「メッセージ」といった項目にした方が、学生はより目を通すのではないか。 ・「関連する科目」や「キーワード」、参考文献は図書館ともリンクを張って、蔵書の確認もできるとよいのではないか。 ・項目をいくら作っても、書き方に差がでるのではないか。 ・T大学のシラバスは、詳細に書かれているが、学生は全部読み取るのだろうか。講義をしているとどうしてもシラバス通りに進まない場合があるが、いかがだろうか。また、学生が講義を理解していなくても、「契約書」とみなし、シラバス通りに講義しないといけないのかという疑問もある。 ・「シラバス」とは、そんなに契約書的に考えないといけないものなのだろうか。ある程度の方向性は示すものの、柔軟性を持たせられるようにしておけないのだろうか。 ・作成要領については、本学には現時点ではないが、あったほうがいいのではないか。 ・システムの入力方法ではなく、事例を多く載せているほうが参考になるのではないか。また、抽象的に書かれるよりは、具体的な事例があったほうがわかりやすい。
事	<p>3. 視察校の選定</p> <p>以下の4校が候補としてあげられた。視察担当者及び日程については調整し決定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・九州産業大学 ・琉球大学 ・玉川大学 ・高知工科大学 <p>※視察のポイント※</p> <p>シラバスは、学習支援のツールであり、学生が身に着けるべき理解度など様々な情報を扱っている。主に履修の選択時及び実際の講義の際に使用されているが、何をどの程度記載してあるシラバスがよりよいものなのか、悩みと葛藤を抱えている現状がある。</p> <p>そのため、他大学では、学習支援に対してどのような考え方をもち、シラバスの支援にいかなる方法をとっているのかを参考にするための視察である。例えば、シラバスチェックや講習会などの方法やかかる労力を知り、その効果を測り、少しでもよりよいシラバスの作成にあたりたい。</p> <p>ここでいうよいシラバスとは、学生にとって「利用価値の高い」シラバスであり、視察時は、シラバスに列記されていない、事象を探る。</p> <p>【連絡事項】</p> <p>1. 10月のミーティング</p> <p>日時：10月24日(月) 16:20～</p> <p>場所：本館3階会議室(B)</p> <p>内容：視察を終えての報告</p>